

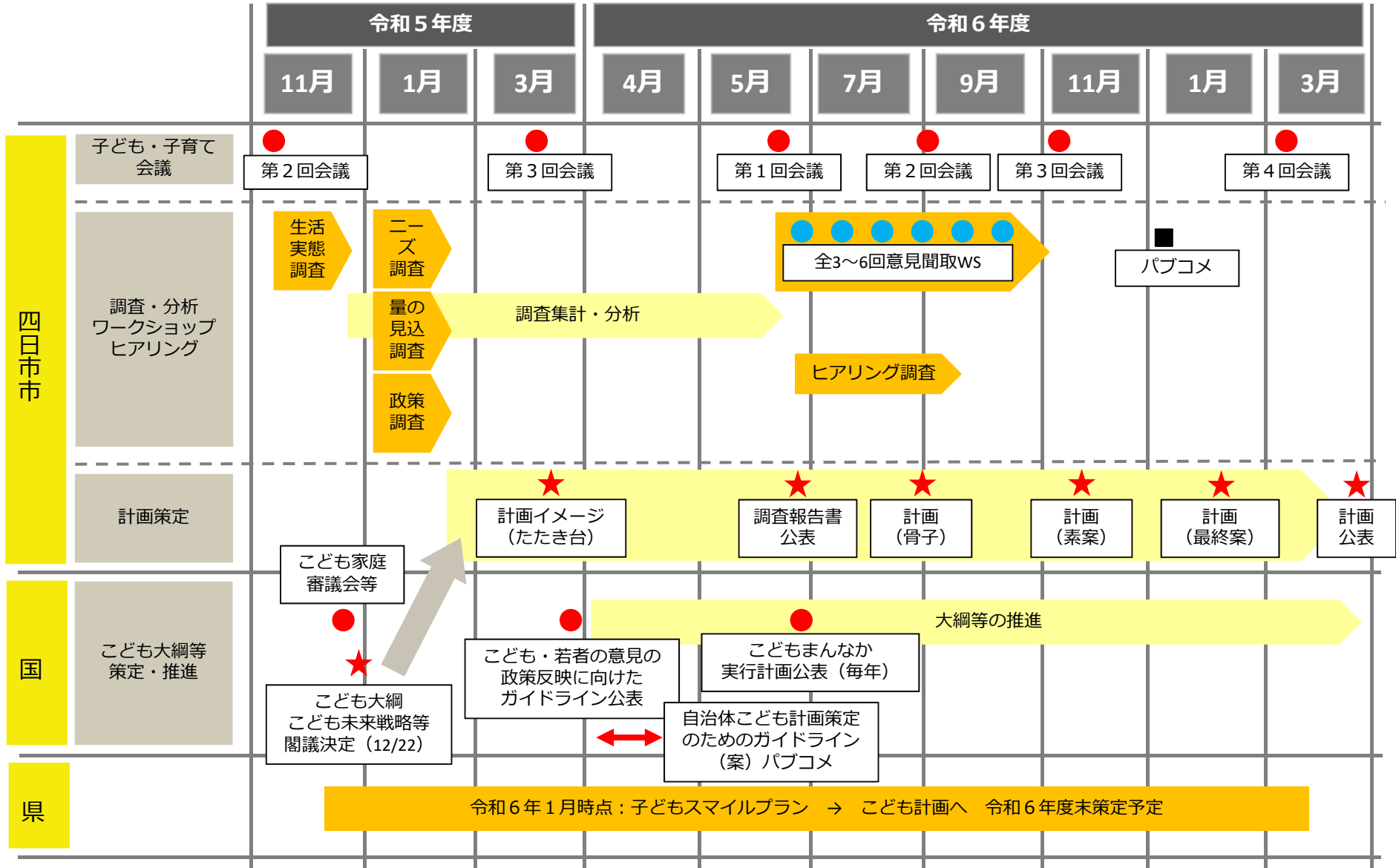
「四日市市こども計画」策定に向けて

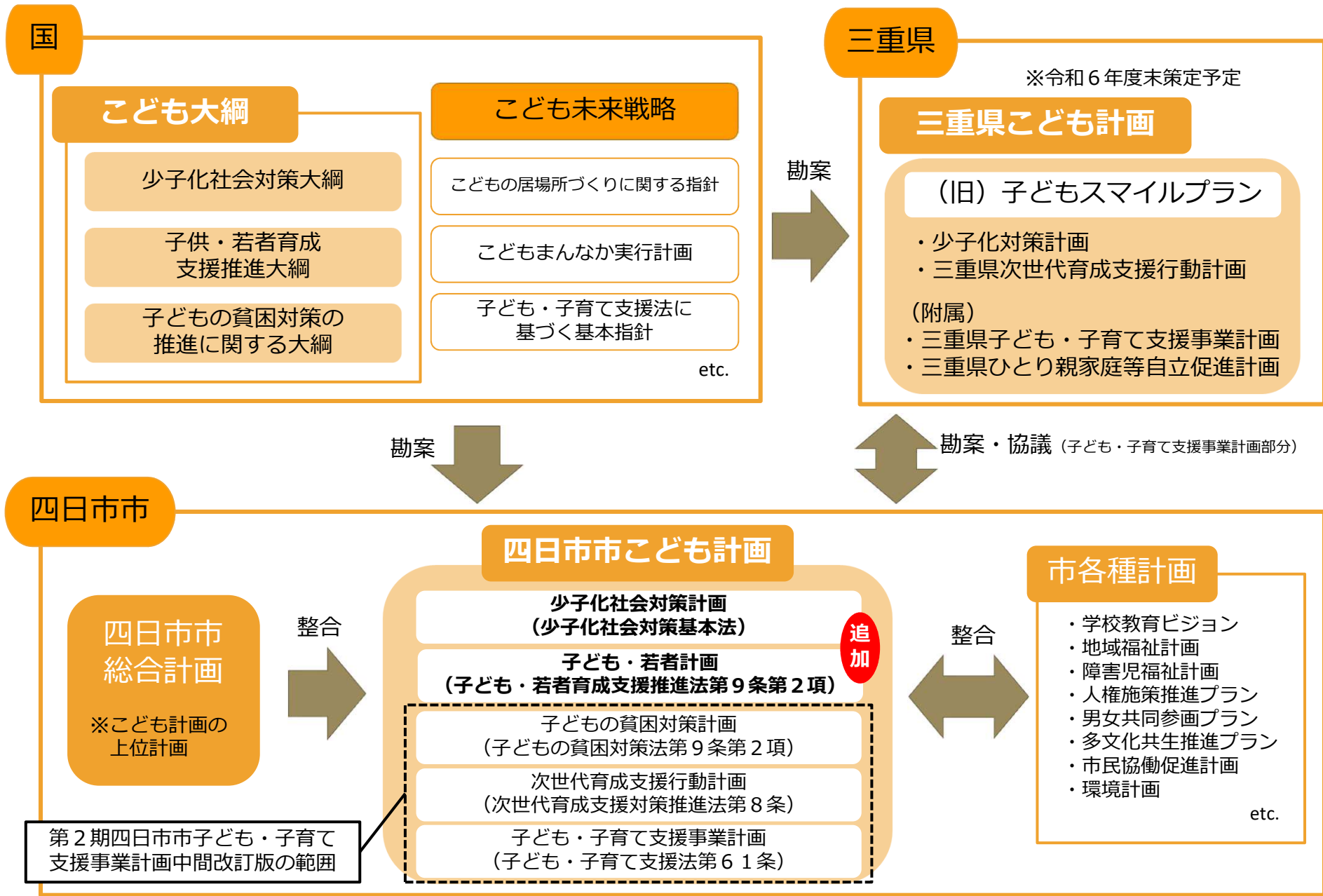
< 議 題 >

- 令和5年度アンケート調査結果について
- 「こども計画」（骨子案）について
- ワークショップ及びヒアリングについて

・四日市市こども計画策定のスケジュール（令和6年4月末時点）

令和5年度	アンケート調査結果と国が閣議決定した「こども大綱」の内容をみながら、「四日市市こども計画」策定に向けて検討を進めた
令和6年度	令和5年度の調査結果等と、wsやヒアリング等の調査を実施しながら、計画を作成し、年度内に策定する





【新】四日市市こども計画

基本理念 こどもと子育てに やさしいまち四日市

基本方針

- こどもの権利を尊重し こどもの意見を聴き
こどもの視点に立って こども施策を実行します
- 社会構造を「こどもまんなか社会」へと変えていきます
- 誰一人取り残さず 切れ目のない支援を行います

カテゴリー① ライフステージを通じた重要事項

- (1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
- (2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり
- (3) こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供
- (4) こどもの貧困対策
- (5) 障害児支援・医療的ケア児等への支援
- (6) 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援
- (7) こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組

カテゴリー② ライフステージ別の重要事項

- (1) こどもの誕生前から幼児期まで
- (2) 学童期・思春期
- (3) 青年期

カテゴリー③ 子育て当事者への支援に関する重要事項

- (1) 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- (2) 地域子育て支援、家庭教育支援
- (3) 共働き・共育での推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- (4) ひとり親家庭への支援

※こども大綱や自治体こども計画策定ガイドライン、現行計画、本市の現状、社会情勢などを踏まえ、今後、計画全体の構成を作成。

【現】第2期四日市市子ども・子育て支援事業計画

・根拠法 子ども・子育て支援法

基本理念 こどもと子育てにやさしいまち四日市

基本方針

- ① 子どもの人権を尊重し、子どもの視点にたつて、健やかな成長をはぐくみます
- ② 家庭の子育ての力をはぐくみ、子育てを家庭を支えます
- ③ 地域や社会全体で男女が共同して、子どもの成長と子育てを支えます

基本目標①
みんなで支えあい子どもの成長と子育てを支える環境が整ったまち

- (1) 就学前教育・保育の充実
- (2) 子育て家庭への支援
- (3) 心身の健やかな成長を育む環境づくりの推進

基本目標②
親と子が安心して自立した生活を送れるまち

- (1) 社会的な養育や支援の必要な子どもや家庭へのきめ細かな支援
- (2) 発達支援の必要な子どもや家庭へのきめ細かな支援

基本目標③
安心して子どもを産み育てられるまち

- (1) 安心して妊娠・出産ができる環境の充実
- (2) 親と子の健康確保と安心して育児ができる環境の促進

推進施策

- ① 保育サービスの充実
- ② 教育・保育環境の向上
- ③ 幼保こ小中連携の促進
- ① 子育て支援サービスの充実
- ② 子育てに関する相談事業の充実
- ③ 男女共に子育てを行う意識啓発
- ④ ワーク・ライフ・バランス促進
- ⑤ 子育てに関する情報提供
- ⑥ 子育ての経済的な負担の軽減
- ① 子どもの人権尊重
- ② 自立した子どもの育成
- ③ 家庭・地域での子育て力の向上
- ④ 地域で子どもを見守る活動推進
- ① 児童虐待防止対策の強化
- ② ひとり親家庭の自立支援の推進
- ① 途切れない支援の充実
- ② 質の高い専門的な発達支援
- ① 安全な妊娠・出産への支援
- ② 妊娠期からの相談体制の充実
- ① 乳幼児の健康診査・予防接種
- ② 妊産婦・乳幼児の歯科保健対策
- ③ 望ましい生活習慣の推進

子どもの未来応援計画（R5.3で追加）
※子どもの貧困対策計画（四日市市Ver.）

重点施策

- (1) 子どもへの教育・学習支援
- (2) 家庭への生活支援
- (3) 保護者への就労支援
- (4) 子育て世帯への経済的支援

教育・保育の量の見込み
地域子ども・子育て事業の量の見込み

調査目的 根拠法上、「量の見込み」と「確保の方策」を定める必要があり、すべての子どもが健やかに成長できる支援体制を整えるため

基本理念

子ども子育てをいざさしりまち四日市

基本方針

- 子どもの権利が尊重され、子ども自身の意見や視点が活かされた子ども施策を行います
- 地域、学校、行政をはじめとして、子どもに関わる様々な機関が連携して、社会全体で子どもの育ちを支える「こどもまんなか社会」を実現します
- 支援を必要とする子どもと子育て当事者に、確実に必要な支援が届くよう、支援の充実と支援人材の育成、切れ目なく支援がつながる環境整備に取り組みます

子ども・若者施策の重要事項

全世代共通

- 子どもの人権尊重
- 遊びや体験、活躍できる機会づくり、生活習慣の形成・定着
- 子ども・若者への切れ目のない保健・医療の提供
- 子どもの貧困対策
- 障害児や医療的ケア児等への支援
- 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援
- 自殺対策や犯罪から子ども・若者を守る取組

子育てしている方

- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 地域子育て支援、家庭教育支援
- 共働き、共育での推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- ひとり親家庭への支援

誕生前から就学前まで

- 切れ目のない保健・医療の確保
- 成長の保障と遊びの充実

学童期（6〜18歳）思春期

- 安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育
- 子どもの居場所づくり
- 成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育
- いじめ防止
- 不登校の子どもへの支援

18歳〜青年期

- 高等教育の修学支援や高等教育の充実、就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組
- 結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援

新 子どもの人権の尊重と「こどもまんなか」社会の機運醸成

- ・ 「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運醸成
- ・ 子どもの意見聴き取りの推進

・ 子どものための人権出前講座等

■ 子どもの貧困対策

- ・ 四日市市奨学金支給事業
- ・ 子どもの学習支援事業

新 重層的支援体制整備事業

■ 児童虐待防止と養育支援

- 拡** 児童虐待防止対策事業
- 新** ヤングケアラーに関する相談支援
- 新** 親子関係形成支援事業

■ 地域子育て支援の充実

- 拡** 子育て支援センター事業
- 拡** 第2子以降子育てレスバイトケア事業
- 新** 子育て短期支援（ショートステイ）事業

・ 子どもの医療費助成

・ ひとり親家庭等日常生活支援事業

■ 安心して妊娠・出産、育児ができる環境の充実

- ・ 妊産婦・乳幼児健康診査充実事業
- 拡** 不妊治療医療費助成事業

・ 産前・産後サポート事業

■ 多様なニーズに応じた子どもの居場所の創出

- 新** 子どもの居場所づくり
- 拡** 学童保育推進事業
- ・ 地域と学校の連携、協働体制構築事業

・ 子ども食堂等支援事業

新 若者の生活基盤の安定と若者の出会いの創出・結婚の機運醸成

- ・ 若者の就労に係る支援
- ・ 四日市マリッジサポート事業
- ・ 若者交流イベント事業

■ 幼少期から芸術・文化・スポーツに触れることのできる機会の提供

- ・ 子どもの芸術体験事業
- ・ 幼少期から体を動かす習慣づくり事業

・ 読書活動の推進

■ 障害児や医療的ケア児等への支援

- ・ 発達障害等早期発見支援事業
- ・ インクルーシブ教育推進事業
- ・ 障害児通所支援事業

■ 自殺対策や犯罪から子ども・若者を守る取組

- 拡** いじめSNS相談の充実
- ・ eネット安心出前講座の充実

■ 仕事と子育ての両立ができる職場環境の実現

- ・ 仕事と子育ての両立ができる職場環境支援事業
- ・ ワーク・ライフ・バランス推進事業
- ・ 父親の子育て参画推進事業

・ 企業への働きやすい環境づくりの啓発

■ 安心して子どもを預けることができる環境整備

- 拡** 適正な受入れ枠の確保
- 新** 保育士等人材確保事業
- ・ 子ども園化の推進
- ・ 教育・保育の質の向上

■ 多様な子どもに対する多様な学びの場の提供

- 拡** スクールソーシャルワーカーによる相談支援の充実
- ・ 不登校対策推進事業

・ キャリア教育の推進

※色分けの定義

今後、充実させていきたい取組

着実に継続していくべき取組（抜粋）

四日市市こども計画 目次

第1章 こども計画の策定にあたって

- ・計画策定の背景と趣旨
- ・計画の位置づけ
- ・期間・対象

- ✓ 国の動向や少子化・人口減少、社会情勢等の背景や第1期及び第2期計画の評価、「こども計画」策定の必要性を記載。
- ✓ 各種計画との関連性及び計画期間・対象者を定義。

第2章 こども計画の理念と目標

- ・基本理念
- ・基本方針
- ・こども・若者施策の重要事項

- ✓ 右図のとおり、第2期計画と同じ構成としつつ、「こども大綱」を踏まえた内容とする。

第3章 こども施策について

- ・施策の体系
- ・各重要事項の施策
- ・今後、充実させていきたい取組、着実に継続していきべき取組

- ✓ 前章を踏まえ、各重要事項における具体的な施策を記載。
※「第2期計画の主な取り組み」をベースに、特に重要と思われる施策とその他事業を区別し記載。

第4章 計画の推進にあたって

- ・計画の数値目標と指標
- ・計画の推進体制
- ・計画の点検及び評価

- ✓ 前章の「今後、充実させていきたい取組」の数値目標と指標の設定を検討。
- ✓ こどもの意見反映や子ども・子育て会議における評価・見直し方法など点検・評価方法を記載。

第5章 こども・子育て支援事業5年間の実施計画

- ・教育・保育の量の見込みと確保方策
- ・地域こども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

- ✓ 第2期計画を継承し、子ども・子育て支援法に基づく基本方針を踏まえ、実施計画の見直しを行い、計画期間における量の見込み・確保方策を記載。

参考資料

- ・本市のこども・子育てを取り巻く状況
- ・用語解説、計画策定の過程

- ✓ アンケート調査結果の報告。
- ✓ 統計データ等に基づくこども・子育てを取り巻く状況を記載。



・こども計画策定に係るこども等の意見聴き取りについて

● こども施策に対するこども等の意見の反映（こども基本法第11条）

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

計画策定にあたってのこども等の意見聴き取り項目一覧

No.	タイトル	主な目的	調査対象者	サンプル数	調査方法	調査の主な位置付け	前回調査有無
①	こども施策検討に関する調査	こども計画策定にあたって、こども・若者の意見を反映した施策を検討するため、意見聴取を行う。	中学3年生 高校2,3年生	1,081人	WEBアンケート	こども大綱 こどもの居場所づくり指針	×
②	【小学生低学年保護者対象】量の見込み等調査	学童保育等の利用希望調査を行い、今後の事業計画を策定するための基礎資料とする。	小学1～3年生の保護者	4,210人	WEBアンケート	子ども・子育て支援事業計画 こども大綱	△
③	【未就学保護者対象】量の見込み等調査	保護者の教育・保育、子育てに関する「現在の利用状況」と「今後の利用希望」調査を行い、今後の事業計画を策定するための基礎資料とする。	0～5歳児の保護者	2,401人	紙アンケート	子ども・子育て支援事業計画	○
④	子どもの生活実態調査	子どもと保護者をめぐる生活の状況や支援ニーズについて、当事者自身に直接尋ねることなどで実態を把握する。	小学5年生 中学2年生の児童生徒とその保護者	4,759人	紙アンケート	子どもの未来応援計画 (子どもの貧困対策計画)	○
⑤	【子育て当事者対象】ワークショップ	実効性のある施策を検討するため、①～④の結果が示す現状やニーズについて、より具体的な内容を聴き取り、把握する。	子育て当事者	約16人×2回	対面orオンライン	こども大綱	×
⑥	【高校生対象】ワークショップ		高校生	約16人×2回	対面orオンライン	こども大綱	×
⑦	【中学生対象】ワークショップ		中学生	約16人×2回	対面orオンライン	こども大綱	×
⑧	【関係団体対象】ヒアリング調査	意見を聴かれにくいこども・若者と日頃から接する機会があり、信頼関係が構築されている団体を中心に、現状やニーズを把握する。	左記関係者	10団体	アンケート及び対面ヒアリング	こども大綱	△
⑨		市総合計画の中間見直しにおける市民の意見聴取の機会を活用し、若者の意見聴取を検討					
⑩	パブリックコメント	計画（案）のパブリックコメントを実施し、広く意見を聴き取る。	市民	—	WEB、窓口配架等	—	○

意見聴き取りの主な意義

- ・ こども・若者、子育て当事者の状況やニーズをより的確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。
- ・ こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会い何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。

ワークショップの概要

対象者	募集期間	募集方法	募集人数	開催日時	場所	テーマ（仮）
子育て当事者①	6/10(Mon)~ 6/30(Sun)	公募	16人 4人×4グループ	7/13(Sat) 10:00~12:00	総合会館7階 第3研修室 (託児有)	<ul style="list-style-type: none"> 現在利用しているサービスのいい点・悪い点について 日頃不便に感じたこと・今後の不安などについて どのようなサービスがあると利用したいかについて
子育て当事者②	6/10(Mon)~ 7/14(Sun)	公募	16人 4人×4グループ	7/27(Sat) 10:00~12:00	総合会館8階 (託児有)	子育て当事者①の深掘り
高校生①	6/10(Mon)~ 6/30(Sun)	学校にて チラシ配布 or WEB配信	16人 4人×4グループ	7/14(Sun) 10:00~12:00	じばさん4階 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> インターネットやSNSの利用方法・危ない経験について あなたの居場所は？その何がいいかについて 居場所や地域の行事・イベントの内容について
高校生②	6/10(Mon)~ 7/14(Sun)			7/28(Sun) 14:00~16:00		高校生①の深掘り
中学生①	6/10(Mon)~ 7/14(Sun)	学校にて チラシ配布	16人 4人×4グループ	7/28(Sun) 10:00~12:00	じばさん4階 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> インターネットやSNSの利用方法・危ない経験について あなたの居場所は？その何がいいかについて 居場所や地域の行事・イベントの内容について
中学生②	6/10(Mon)~ 7/14(Sun)			8/2(Fri) 10:00~12:00		中学生①の深掘り
その他	市総合計画の中間見直しにおける市民の意見聴取の機会を活用し、若者の意見聴取を検討					

◆ WS【子育て当事者対象】の概要

アンケート
調査結果

※【未就学児保護者】【小学生低学年保護者】のアンケート調査結果から

- ・子育てに関し、5年前に比べ、父親の関わりが増加。
- ・保育園・こども園、学童保育所の利用ニーズに高まりが見られる。
- ・市に期待する施策は、経済的支援、仕事と家庭との両立の推進、学童保育所の充実の順で高い。
- ・情報の入手方法は、通園・通学している施設からの情報を除くと、友人が最も多く、次いでインターネット・SNS。

WSのテーマ

共働き・共育てに必要な支援策について

ヒアリング内容

- 現在利用しているサービスのいい点・悪い点について
- 日頃不便に感じたこと・今後の不安などについて
- どのようなサービスがあると利用したいかについて

◆ スケジュール（案）

WSの流れ	スケジュール Total:120min	実施内容	留意事項
趣旨説明	15min	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども計画策定について ・ テーマの説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定の背景や目的の説明 ・ フィードバックについての説明
アイスブレイク等	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ グラウンドルール（案）の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リラックスできる雰囲気作り ・ ルールに対する意見の聴き取り
グループワーク①	30min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在利用しているサービス ・ 不便に感じたことなど 現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ分けへの工夫（こどもの年齢） ・ 多様なニーズへの配慮
休憩	5min	休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・ お茶やお菓子などの準備
グループワーク②	40min	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで決めたテーマについて議論 アイデア出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を聴く姿勢とサポート ・ 場合により、選択肢を用意
発表	20min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表（各グループ4分程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り進まない場合は短縮 ・ 意見を言うことは任意
振り返り	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート等によるWSの評価や言えなかった追加の意見聴き取り

※託児所を用意する
各グループに1名のファシリテーターを配置する

◆ WS【中高生対象】の概要

アンケート
調査結果

※【中高生】【子どもの生活実態調査】のアンケート調査結果から

- ・結婚・子育てに関して不透明感が見られる。
- ・インターネットやSNSは一定の利用が見られ、これらを通じて知り合った人とメッセージやメールなどでやりとりとする割合が約45%ある。また、勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりすることも36.4%ある。
- ・居場所を求める割合が約4割（生活実態調査では26.9%）。
- ・居場所に求める条件は、趣味や好きなことができたり、ありのまま、素のままでいられたりすることが高い。
- ・地域の行事や活動に参加したいと思う割合も72.7%。参加しにくい理由は、時間や内容によると想定される。

WSのテーマ

こども・若者の現状や感覚とニーズについて

ヒアリング内容

- インターネットやSNSの利用方法・危ない経験について
- あなたの居場所は？そこの何がいいかについて
- 居場所や地域の行事・イベントの内容について

◆ スケジュール等

WSの流れ	スケジュール Total:120min	実施内容	留意事項
趣旨説明	10min	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども計画策定について ・ テーマの説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい資料 ・ フィードバックについての説明
アイスブレイク等	10min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ グラウンドルール（案）の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リラックスできる雰囲気作り ・ ルールに対する意見の聴き取り
グループワーク①	30min	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット等について ・ 居場所や地域行事について 現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ分けへの工夫 ・ 大人は「聴く」「待つ」「促す」
休憩	5min	休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・ お茶やお菓子などの準備
グループワーク②	40min	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで決めたテーマについて議論 アイデア出し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人は「教えてもらう・一緒に考える」 ・ 場合により、選択肢を用意
発表	20min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表（各グループ4分程度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予定通り進まない場合は短縮 ・ 意見を言うことは任意
振り返り	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート等によるWSの評価や言えなかった追加の意見聴き取り

※会場に大人の数が多くならないように配慮する
個人情報等の利用について、あらかじめ本人や保護者の同意を得る
公共交通機関の利用に関して実費を支出する
各グループに1名のファシリテーターを配置する

ヒアリング調査の概要

アンケート調査の結果を踏まえ、ヒアリング調査は、日頃から意見が聴かれにくいこどもと信頼関係を構築している団体を中心に実施する。
以下の団体を想定しており、事前にヒアリングシートを記入いただき、これを基にヒアリングを行う。

調査対象団体	実施時期	場所	特定テーマ（仮）
四日市市子ども食堂等支援事業費補助金の交付決定団体	7月～9月	調査先の指定する場所 もしくはオンライン	事業の利用者からの相談内容について
四日市市社会福祉協議会 生活支援室			生活困窮家庭の現状等及び必要な支援について
民生委員・児童委員			地域のこども・子育てに関する課題やニーズについて 地域の行事やイベントにおけるこどもの様子について
乳児院・児童養護施設			施設に入所しているこどもの意見やニーズについて 施設への相談内容について
児童養護施設			施設に入所しているこどもの意見やニーズについて 施設への相談内容について
スクールソーシャルワーカー			学校におけるこどもの現状や課題について 学校と行政や地域の連携について
北勢地域若者 サポートステーション			こども・若者の施設の利用実態について 利用者からの相談や意見について
三重県児童相談センター 北勢児童相談所			こども・若者の施設の利用実態について 相談内容や意見について
子どもアドボカシーセンター M I E			こどもの社会的養護の現状について こどもの意見聴き取りや反映方法について
三重県警察 北勢少年サポートセンター			こどもの犯罪等の現状について 利用者の抱える悩みや意見について